学校番号	327

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	「硬筆レッスン帳」　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学んだ漢字、仮名、漢字仮名交じりの書、篆刻の学習をさらに発展させます。
漢字では新たに隷書、草書、篆書を学習します。
書道の創造的な諸活動を通して芸術としての書を、自分の表現として制作し、自分の気持ちや他人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方.考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質.能力を次の通り育成することを目指す。
【知識及び技能】
多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを甘受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名の書	・臨書を通じて、古筆・高野切(平仮名・変体仮名・片仮名)の表現形式に応じた全体の構成と仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆・字形・全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:仮名の書を構成する様々な要素や仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知) a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能・墨継ぎや散らし書き等による全体の技能を身に付けている。(技) b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。(鑑) c:主体的に仮名の書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素・書体・書風や配字による表現の効果。を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:篆書を表現する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。(知) a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体書風配字等による全体の構成の技能を身に付けている。(技) b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:主体的に篆刻の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察

2学期	漢字の書	・楷書・行書・草書・隷書及び篆書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆・字形全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。（技） b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字の書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
3学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字(楷書・行書・隷書・草書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和等による全体の構成を工夫しながら表現する(創作)。	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解を深めている。（知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度